学校番号	3032B

令和８年度　　芸術科（工芸）

教科	芸術	科目	(学)工芸入門 A	単位数	1	年次	2･3 年次前期
使用教科書							
副教材等	教科作成プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身近な素材を用いた工芸品の制作を行う。
・工芸と豊かな生活や文化の創造との係わりを理解し、自己の表現に生かしていく。

２　学習の到達目標

工芸の良さを理解し、材料や用具、制作手順を工夫しながら作品を制作する力を身につける。
工芸作品を生活の中に生かしていく態度を身につける。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	陶土の性質・陶芸技法（手びねりの技法）を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、制作方法を工夫できるようにする。	手びねりの技法、木材の活かし方について考え、価値意識を持って、伝統や文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	課題作品の制作のみではなく、主体的に工夫を凝らし作品制作に取り組み、生活や社会を心豊かにするために工夫するための態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	題材の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	陶芸	作品鑑賞 陶土 手ひねりによる器物制作 タタラ技法による器物制作	a.陶土の性質、手ひねりの技法を理解し、器物制作に生かす。 b.用途に合わせたかたちを考え、工夫して制作できる。 c.表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート